



岡本眞利子議員
(政清会)



道路は車が通るためだけに
あるのではなく、人の往来

もあり、特に近年では健康のためにジョギングや散歩される方も少なくない。車が安全に通行でき、人に美しい生活環境を与えるためには、道路の適切な維持管理が必要である。しかしながら現状は、厳しい財政状況などにより、道路管理者として苦慮していることは認識しているが、老朽化が進んだ道路が多く見受けられる。町民の命を守る、生活を守るという観点から次の点について伺う。

(1) 道路白線（路面標示）について
① センターラインや車道外側線の補修延長は。
② 横断歩道、停止線の白線標示の補修要望数と実施箇所は。
(2) 保育施設周辺の「キッズゾーン」整備は。
(3) 街路樹、支障木の管理は。
(4) 道路パトロールの実施状況と危険なごみ集積所の点検は。

問 町民の暮らしに密着した安全・安心な道路の維持管理を

答 限られた予算の中で快適な生活環境の維持のため、計画的な整備更新に努めている

町長 (1) ① センターラインや車道外側線などの白い区画線は道路

法により道路管理者が、横断歩道や停止線など道路標示は道路交通法により公安委員会がそれぞれ設置し管理している。車道中央線は、平成29年度に4万2222m、30年度に2万9160m、本年度は3万3356m、車道外側線は、平成29年度に3946m、30年度に5215m、本年度は2459mの補修実績であった。

② 横断歩道や停止線などの道路標示等の破損は、年間で2、3件の改修を公安委員会に要望し、緊急度の高いものから対応していただいている。補修実績は横断歩道で毎年36か所程度、停止線は隔年で2か所程度と伺っている。

(2) 保育所で行う散歩等の園外活動の安全を確保するため、スクールゾーンに準ずるキッズ・ゾーンが創設された。現状では整備の必要性は高くないものと認識している。

(3) 日常的な通行に支障を及ぼすことのないよう、安全、安心な道路

環境の維持に努めていかなければならない。

(4) 道路パトロールでは、一般交通に支障を及ぼす道路の損傷や変状などの異常の発見に努め、発見した異常箇所は、緊急性を要するものは即時に、それ以外は職員が現地確認した上で対応を行っている。

ごみ集積所については、2月6日にごみ集積所の緊急調査を実施し、車道側からごみを投入する金網製のボックス型集積所を15か所確認し、利用にあたっての注意喚起を呼びかけた。

問 今後の成人式の対象年齢は

答 他市町村の状況を踏まえて検討を進める



成年年齢を18歳に引き下げる「民法の一部を改正する法律」が2022年4月1日に施行される。これまで20歳を対象に開催していた本町の成人式の在り方について、今後の方向性を伺う。



令和2年 幕別町成人式実行委員

教育長 成年年齢は、平成30年6月に「民法の一部を改正する法律」が公布され、令和4年4月から18歳に引き下げられる。

国が令和元年6月に全国の自治体を対象に実施した調査では、回答があった1037自治体のうち、成年年齢が18歳に引き下げられた場合、成人式の対象者の年齢を既に決定している自治体が67であり、うち9割以上は年度中に20歳に達する人としている。

本町において、成人式の対象年齢を18歳とし、1月に式典を実施した場合、多くの高校3年生が進学や就職準備を控え、式典への参加が難しくなると想定され、20歳を対象として開催する方が多くの方に参加いただけるものと推察している。他市町村の状況も踏まえ、成人式の在り方について今後検討を進めたい。